

# H25 バスターズ通信 Vol.6



平成25年6月23日 (日)

バスターズ18名がご参加下さいました。人工産卵床、アイカゴ、定置網の観察と稚魚すくいをしました。

人工産卵床 &  
稚魚すくい



ブラックバスの卵(上)とブルーギルの卵(下)。ブルーギルの卵はバスの卵の半分くらいの大きさです。

人工産卵床では、ブラックバスの卵が1箇所、ブルーギルの卵が1箇所ありました。

産卵床に集まったバスの稚魚すくいでは、約3,500匹の稚魚を捕ることができました。

アイカゴ



罟つきアイカゴで捕れたブルーギル



産卵間近なブルーギル♀

アイカゴでは15匹のブルーギルが捕れました。産卵間近なメスが多く、お腹を押すと卵が出てきました。

定置網



定置網では、約3,500のバス稚魚が匹捕れました。

『小魚が増えている』



作業の合間に、伊豆沼で定置網を仕掛けている漁師さんから話を聞くことができました。

漁師さんの話では、昨年秋ごろからモツゴ・タモロコなどの小魚が網にたくさん入るようになったということです。捕れた魚を見せてもらったところ、10cmくらいのモツゴ・タモロコが多く、テナガエビも捕れていました。ブルーギルも捕れているのが心配ですが、小魚の増加はバス駆除の成果が見えてきたことを意味します。

最近では、沼の近くの商店で伊豆沼産の小魚の唐揚げも見られるようになりました。



次回 (最終回) のバスターズは、6月30日 (日) に行います。  
みなさまのご参加お待ちしております！